Rotary International District 2500

Governor's Monthly Letter

2018・2019

インスピレーションになろう

Rotary

ガバナー月信
Vol.4 2018.10.1

■目次

細川　吉博　第2500地区ガバナーメッセージ …… 1
公式訪問レポート …… 2
米山記念奨学会運営委員会 …… 12
奨学生レポート …… 13
ハイライト米山 …… 14
コーディネーターニュース …… 16
新入会員紹介 …… 17
ロータリー財団寄付者 …… 17
物故会員 …… 17
例会出席率 …… 18
オンツーハンブルグ委員会 …… 19
ロータリーの友委員会 …… 20

ガバナー・メッセージ

2018－19年度
国際ロータリー第2500地区ガバナー　細　川　吉　博
（帯広北ロータリークラブ）

クラブメンバーの世代交代に思う

日本の地方において人口減少、少子高齢化は様々な問題を引き起こしていますが、ロータリアンのように奉仕に関わる団体にとってもメンバーの減少は深刻な問題です。クラブ訪問を通じて多くのクラブでは親睦の機会を増やし、奉仕の機会を充実させることによって会員の増強に努力されています。

クラブによってはロータリアンがある年齢になって後継者に会員を譲って引退されているところがありました。またあるクラブでは多くの高齢（失礼しました）の会員が現役にて精力的に活動されていらっしゃいますが、社会的にそれなりの年齢になられた後継者の方がいらっしゃいますがロータリーなどの奉仕団体に加入されていないとのクラブがありました。

多くの皆さんは大変お元気です。きっとロータリーの活動がそうさせているとは思いますが。会員の世代交代は今後大切な問題と思います。

9月に訪問させていただきました稚内ロータリークラブは親子２世代の会員が３組いらっしゃるとのことでした。中標津町ロータリークラブにおかれても２組の会員がいらっしゃいました。どちらのクラブにおいても親子どちらの会員も精力的に活動されクラブ内での要職をこなされていました。

地方では起業される方が限られ、減少しています。ロータリーとしての活動をその地区で継続していくためには後継者に入会してもらう必要があると思います。

親子で会員維持しやすい方法、例えば会費の割引をするなどクラブの中で円滑に継続していけるよう検討できることがあると思います。皆さんのクラブではいかがでしょうか？

10月は経済と地域社会の発展月間です。ロータリーが活発に活動できる社会は経済的にも良好に循環している証しと思います。私たち一人ひとりの活動が地域発展の原動力と考えて活動したいものです。

そして米山月間です。この2500地区には多くの奨学生が学んでいます。きっと将来日本と本国との架け橋になってくれるものと信じています。米山奨学会の意義をぜひご理解いただき皆様のご支援をお願いいたします。

第３分区　美瑛ロータリークラブ

会　　場：美瑛町商工会　　会　長：上田　利政
公式訪問：2018年8月20日（月）　　幹　事：古川　博士

美瑛ロータリークラブは、旭川北クラブをスポンサーとして1975年3月21日に創立されました。上田会長の会長方針である「町の人口減少を憂慮し、日々のロータリー活動を少しでも地域活動に役立たせたい」のもと、会員が一致団結し、美瑛どかんと農業まつり・美瑛神社での植樹活動・サケの稚魚放流といった奉仕活動を継続し、地域のための活動を実践しております。会員の相互交流・活動状況の外部への発信ではフェイスブック・ブログを活用し、閲覧者は既に4万5千人を数え、PR活動にも積極的に取り組みしております。会長方針には、青少年の活躍が不可欠であると捉え、ライラセミナーへの積極的な参加、各種イベント等で青少年と積極的に関わり、リーダーの発掘・育成にも努めているとのことでありました。旭川市内での年1回の夜間例会も開催しているとお聞きし、会員27名のとても和気あいあいとしたクラブとの印象を受けました。お忙しいところ公式訪問に、心温まる対応をいただきありがとうございました。

（文責：今野　　努　副幹事）

第３分区　旭川南ロータリークラブ

会　　場：アートホテル旭川　　会　長：髙野　　徹
公式訪問：2018年8月20日（月）　　幹　事：一條　豪真

旭川南ロータリークラブは、旭川西クラブをスポンサーとして1973年2月11日に創立されました。例会出席がクラブの発展、会員同士の親睦、奉仕の機会に繋がるものとして出席率向上を目指し、会員増強に積極的な取組を行っています。社会生活に奉仕の理想を適用し、公共のために奉仕することを奨励、旭川市主催のゴミぽい捨て禁止運動、神楽花火大会後の河川敷清掃にも会員が団結して参加しているとの事です。青少年奉仕では、会員27名の旭川明成高校インターアクトクラブのスポンサークラブとして積極的な関わりも継続しており、CO２削減に効果のある植物ケナフの植栽に同校と協力して、エコ活動にも取り組みしています。会員数35名の南クラブ髙野会長は「世界で、地域社会で、そして自分自身の中でよりよい未来のために仲間が手を取り合って行動する社会を目指す」という趣旨の「未来を考えよう」という会長方針を掲げ、親密でまとまりのあるクラブとの印象を受けました。第3分区淤見ガバナー補佐をはじめ、南クラブの皆様お忙しい中、公式訪問にご対応を賜りありがとうございました。

（文責：今野　　努　副幹事）

第３分区　旭川空港ロータリークラブ

会　　場：東神楽町商工会　　会　長：秋山　雅章
公式訪問：2018年8月21日（火）　　幹　事：宮出奈美枝

旭川空港ロータリークラブは、旭川南クラブをスポンサーとして1995年5月28日に創立されました。秋山会長の会長方針である「楽しみながら　貢献できる活動を」のとおり会員の皆様は、親睦活動を楽しみながら地域社会に奉仕されており、楽しく笑顔の絶えないクラブとの印象を受けました。現在行っている活動として、町内少年野球団2チームへの支援・旭川空港祭りをはじめとするお祭りへの参加・小学校の図書費補助などでありますが、活動の幅を広げ、より一層の地域社会に積極的な奉仕を深めていきたいとのことでありました。国際奉仕には、町内の老健施設で働くベトナム・タイ人との交流により親睦と理解を深めていくと、前向きです。会員12名で少人数のクラブではありますが、細川ガバナーからは「少人数で最強のタッグを組み、力を合わせてロータリーを盛り上げて頂きたい」と今後についても期待するお言葉がありました。9月に旭川空港にて開催される、全国空港ロータリークラブフォーラムのホストクラブであるにも拘らず、本当にお忙しい中、ご対応いただきありがとうございました。成功を祈念しております。

（文責：今野　　努　副幹事）

第３分区　旭川西ロータリークラブ

会　　場：アートホテル旭川　　会　長：大垣　　宏
公式訪問：2018年8月21日（火）　　幹　事：佐藤　友泰

クラブ協議会において、代理出席者が多いにも関わらず、細川DGのクラブ活動計画報告へのアドヴァイス・講評は懇切丁寧になされました。

質疑応答の時間が何故かしらもうけられており、待ってましたとばかりに地区事務所の一件に対しての質問があり、この後の例会におけるガバナー講話にて説明される予定事項ではありましたが、ガバナーは方針どうりの答弁をいたしましたが納得できないようでした。

ガバナー公式訪問における基本的なあり方はクラブ協議会におけるクラブの活動計画の説明であり、ガバナー代理としてガバナー補佐が出席可能な会議ですので、ガバナーへの質疑応答は、ガバナーがＲＩ会長のテーマを説明し会員の理解を求める事およびガバナー地区方針等の説明がなされた後に設けられるのが多くのクラブのあり方ですので少々戸惑いました。

旭川市内7クラブは夫々個性があり、例会・初会議の雰囲気も個性的で、歴史の差かロータリーの理解度の差か、思わぬ温度差を感じました。

例会は細川DG地区方針説明他、パワーポイントを有効且つ効果的に使用し、誠意と熱情溢れれる一般ロータリアン目線での説明では、その内容は十分に理解され多くの会員諸氏のロータリー精神を刺激し理解されたものと思われます。

特に２５００地区事務所等の諸問題点にも地区戦略会議にて取り組み始め近い将来に解決する方向の報告は十二分なる理解を得られたものと感じました。

（文責：家内　裕典　副幹事）

第３分区　北海道２５００ロータリーＥクラブ

会　　場：大雪地ビール館　　会　長：梅井　幹雄
公式訪問：2018年8月22日（水）　　幹　事：渡邉　正俊

北海道２５００ロータリーＥクラブは創立5年の若いクラブで、北海道に唯一のＥクラブです。Ｅクラブとは ＷＥＢ上を例会場とし、そこに会員が見に行く、または書き込むことで成立しています。ＷＥＢ上で出来るとあって、会員も旭川の方だけではなく、北海道全域から入会ができるのも特徴です。細川ガバナーからもこのＥクラブの運動をぜひ2500地区に広く発信したいという言葉もありました。ＷＥＢ上だから出来る可能性や、入会のしやすさが、まずはロータリーの運動を知るきっかけとして若い世代に受け入れられないか、また、クラブの無い地域で活動したい会員にはとても良い手段になるかもしれないというお話で会員の皆様も興味深く聞いておられました。

梅井会長からも先般発災した西日本豪雨の際に広島県の福山や呉などからメークアップの依頼があったと報告がありました。ＥクラブではＷＥＢ上でメークアップがとれるのも特徴で500円でカード決済で可能です。詳しくは以下のページにアクセスしてください。

http://hokkaido2500rotaryeclub.org/

梅井会長の本年度方針「実行しましょう」のもと、ケータイスマホ安全教室の実施や献血運動など特色ある活動に加えて、インターアクトや他地域との交流を模索するなど、方針通りのアクティブな運動に大変勉強をさせられた訪問となりました。

（文責：火ノ川　好信　副幹事）

第３分区　旭川北ロータリークラブ

会　　場：ＯＭＯ７旭川　　会　長：吉川　裕二
公式訪問：2018年8月22日（水）　　幹　事：澤田真由美

吉川会長の本年度クラブ方針は「伝統を引き継ぎ進化を計る」です。

伝統を受け継ぎながらも組織が硬直化しないように発展的な持続を目指す方針には、昨年度50周年を終え、また新しい未来を切り開いて行こうという吉川会長の思いが感じられました。

特に重点目標の1つに位置付けている子供たちの学習支援事業には吉川会長の並々ならぬ思いが詰まっているように感じました。通称「せんちゃん食堂」と呼ばれる支援事業は2500地区の地区補助金を活用した運動で、毎月第1・３月曜日に「ラーメンのせんちゃん」を会場に、小学生から高校生までの学習支援をしています。講師は会員や大学生が行うこともあり、学習支援だけではなく人財育成にも一役買っているのは想像がつきます。学習が終わった後にはみんなでせんちゃんラーメンを食べるのも子供たちにはたまらない時間でしょう。昨年50周年を終え、地域の中で「お金やモノ」だけではなく「地域の子どもたちの未来を育む運動が必要」と取り組まれた事業と伺い、その経緯を説明する会長の言葉に何度も感銘を受けました。細川ガバナーからもなんとかこの事業を継続し、２５００地区内でも発信しながら広げていくことが出来ないだろうかというお言葉もありました。

各地にはよい仲間と良い見本が沢山あることを感じる訪問になりました。

（文責：火ノ川　好信　副幹事）

第３分区　旭川東ロータリークラブ

会　　場：アートホテル旭川　　会　長：山﨑　知文
公式訪問：2018年8月23日（木）　　幹　事：駒形　貞洋

山﨑会長と細川ガバナーは青年期釧路の病院でともに勉強をされていた仲ということもあり、会長のご挨拶の度にガバナーの体調を思いやるお話があり、更に地区役員に3名出向頂いているということで本当にガバナーを応援いただいているクラブだと感じました。会長の方針の中でも「インスピレーションになろう」というテーマを細かく分析され、会員の事を思いやる姿勢に溢れるクラブであると感じましたし、今年度は例会の出席率も上がっていることを聞き、会長をはじめ皆様の人柄がそうさせているのだと感じました。

今年度の活動をお聞きし、ガバナーからも青少年事業に力を入れているクラブとお話があったように、長年にわたりルーマニア等の国際交換留学の事業を行った実績があり、また友愛委員会があり、そこでは国内1クラブ、海外1クラブの友愛クラブとの交流、親睦を行っていることをお聞きし、人と人のつながりを大切にするクラブであることが感じられました。

例会上の外には○×式にホワイトボードで出席に有無を記すことができ、一目で今日の出席状況、一年間の出席状況がわかります。こういった細かい配慮も出席率を上げる要素になっているかもしれません。大変勉強になる訪問となり感謝いたします。

（文責：火ノ川　好信　副幹事）

第３分区　旭川東北ロータリークラブ

会　　場：旭川トーヨーホテル　　会　長：川上　義尚
公式訪問：2018年8月23日（木）　　幹　事：鈴木　　哲

旭川東北ロータリークラブは、旭川東ロータリークラブをスポンサーとして旭川市内6番目のクラブとして、昭和５５年２月１４日に創立され今年で３８年になりました。

会員数は１７名と少数精鋭ですが、明るい雰囲気の中でクラブ協議会、例会、２次会に参加させていただきました。旭川東北ロータリークラブの活動で特に目を引いたのは青少年奉仕の活動です。旭川大学高等学校インターアクトクラブの支援、東北ロータリー旗争奪中学校野球大会、東北ロータリー旗争奪小中学校バレーボール大会などの活動を計画されており、野球大会やバレーボール大会は今年で３３回目の開催になります。旭川の他のロータリークラブも含めてですが、インターアクトクラブの支援を行っているクラブが多く、旭川全体が青少年の育成に力を入れているという印象を持ちましたが、旭川東北ロータリークラブもまさに青少年奉仕に真剣に取り組まれているクラブでした。

最後にお忙しい中でお迎えいただいたメンバーの皆様に感謝申し上げます。本当に有り難うございました。

（文責：曽我　浩昌　副幹事）

第３分区　旭川モーニングロータリークラブ

会　　場：アートホテル旭川　　会　長：嵯城　俊明
公式訪問：2018年8月24日（金）　　幹　事：木村　和哉

第２５００地区唯一のモーニングロータリークラブである旭川モーニングロータリークラブの例会は朝７：３０からスタートしました。

当初は朝が早くて大変ではないかと考えていましたが、朝から活気溢れる会場に圧倒され、メンバーの皆様がとても元気で溌剌としているのを見て、眠さもどこかへ飛んでいき、その日一日の活力をいただきました。貴重な朝の時間を大切に使い、メンバー皆様の努力でこのような例会運営をされていることに感動を覚え、またクラブを活性化している秘訣

が例会にあると感じることができました。

嵯城会長は今年度の会長方針で「楽しくなければロータリーじゃない」、しかし「楽しいだけでもロータリーじゃない」、この２つの要素があってこそロータリーで、これらを徹底的に追求することが新モーニングロータリーへの進化であり、会員相互の絆を深めることになると伝えています。確かに私が感じた楽しさの裏にある、規律やおもてなし、真摯な姿勢など、会長方針を体現していると感じました。

細やかな心遣いでお迎えいただき旭川モーニングロータリークラブのメンバーの皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

（文責：曽我　浩昌　副幹事）

第３分区　旭川ロータリークラブ

会　　場：ＯＭＯ７旭川　　会　長：鎌田　嘉範
公式訪問：2018年8月24日（金）　　幹　事：須藤　良太

第２５００地区で最も歴史あるロータリークラブである旭川ロータリークラブは昭和９年１０月２６日に創立され、今年で創立から８４年になります。クラブ協議会、例会に参加させていただき、まさに歴史と伝統を感じさせる厳粛な雰囲気、そして厳格な運営をされていて、自然と背筋が伸びるような気持ちになりました。

今年度の鎌田会長の会長方針のテーマが「歴史と伝統を原点に、未来へつながる活動に取り組む」とありますが、歴史と伝統の重みが半端ではなく、今まで培ってきた活動での地域への貢献や結びつきを

基に未来志向で活動するメンバーの皆さんに感動いたしました。

余談になりますが今回の公式訪問ではガバナーがお持ちしました点鐘の鐘を例会時にセッティングさせていただきましたが、その時に通常の例会で使われる点鐘の鐘を見せていただき、そこからも歴史を感じることができ思わず写真を撮ってしまいました。

旭川ロータリークラブ　点鐘の鐘

今回の公式訪問では旭川ロータリークラブのメンバーの皆様に温かく迎えていただき心より感謝申し上げます。有り難うございました。

（文責：曽我　浩昌　副幹事）

第４分区　興部ロータリークラブ

会　　場：興部町地域商工センター　　会　長：長坂　廣行
公式訪問：2018年8月27日（月）　　幹　事：阿部　昭一

長坂廣行会長の基本方針は第２５００地区細川ガバナーが掲げられました８つの地区目標を熱い気持ちでロータリアンとしての心を奮い立たせ活動し、地域社会でロータリークラブの存在意識を高めていきますとお話されました。その中で実際の活動も地域のニーズを探り地域社会の質を高めるために大きなことをするのではなく少人数クラブとして身の丈にあった活動、奉仕実践しクラブ内の連携を密にしていました。町の人にもロータリー活動を理解して頂けるよう広報活動にも力を入れていることでした。また国外からの船舶が行き来する興部町ならではのことですが海外訪問者、国外訪問者の方々を例会に招待し理解と交流を深める活動にもお力を注がれ、会員皆様ひとり一人が『核』となって活動されている印象を受けました。

興部ロータリークラブの皆様、心温まる対応をして頂き感謝申し上げます

（文責：及川　　悟　副幹事）

第４分区　雄武ロータリークラブ

会　　場：ホテル日の出岬　　会　長：橋詰　啓史
公式訪問：2018年8月27日（月）　　幹　事：白石　豊喜

雄武町は人口４５２１名で道東地方、北海道オホーツクの最北部、稚内と知床のちょうど中間地点に位置するこの町は、オホーツク海の豊富な海産資源と、広大な大地を利用した畜産資源に恵まれた「自然と資源の豊かな町」でもあります。その地域の中で雄武ロータリークラブは、１９６４年に紋別ロータリークラブをスポンサーに創立。漁業・林業・畜産を主要産業とし、地方特有の人口減少の中、会員１２名で活動しております。限られた会員数の中で全会員が何事にも前向きな意欲を持つことを念頭に会員増強に力を入れて活動しています。橋詰啓史会長は会長方針の中に４つのお言葉を綴られています。『熱意を持つ』『心に伝わる』『励ます』『手を取り合う』これは雄武の開拓期からの厳しい冬を乗り越えるためにお互い日々助け合いながら春の訪れを待つ人の繋がりの中で生れたお言葉だと思います。会員相互の親睦やクラブへの思いを大切に地域への奉仕活動、事業に役立つ活動を実行されているクラブでした。

雄武ロータリークラブの皆様には、心温まる対応をして頂き感謝申し上げます。

（文責：及川　　悟　副幹事）

第５分区　留辺蘂ロータリークラブ

会　　場：留辺蘂商工会館　　会　長：小野寺栄司
公式訪問：2018年8月28日（火）　　幹　事：田中　裕治

例会スタートは出席者で留辺蘂ロータリークラブソング『おお、ルベシベロータリアン』を斉唱！歌詞が留辺蘂のことがこの歌ですべてを表現していてロータリアンの皆様が如何に地元を愛しているかを感じ感動すら覚えました。

留辺蘂町は北見市に隣接した町として２００６年に北見市と合併。留辺蘂ロータリークラブは１９５８年創立。歴史と伝統のあるクラブです。小野寺栄司会長が掲げる会長方針『行動し、地域にアピールし、将来の留辺蘂ロータリーの在りようを考えよう』がまさにクラブに浸透する努力をしています。その取り組みとして地域にロータリークラブをＰＲするためにみどり祭りをはじめとする地域行事に積極的に参加し会員皆様が快活に活躍されていることまた、地元の留辺蘂高等学校の生徒、留辺蘂自治区の生徒を対象に就学援助として奨学金の支給にも力を入れられています。地域に密着した行動を実践し『心の和』を大事にしているロータリークラブと感銘を受けました。

留辺蘂ロータリークラブの皆様　心温まる対応をして頂き感謝申し上げます。

（文責：及川　　悟　副幹事）

第８分区　別海ロータリークラブ

会　　場：別海交流館『ぷらと』　　会　長：松隈　昭敏
公式訪問：2018年8月29日（水）　　幹　事：楠瀬　　功

広大な酪農地帯で日本最大級の畜産糞尿発電バイオマス施設を有する別海町。全国１位の生乳生産量を誇る高級乳製原料を供給する地域でもあり、尾岱沼地域の漁業も盛んな人口14，９２３人の町です。その地域で活動する別海ロータリークラブは、根室ロータリークラブをスポンサーに１９７６年創立。創立４２周年を迎えています。

松隈会長は「ロータリーを楽しみ、理解しましょう」をキャッチフレーズとし何事にも意欲的に参加、協力し合い国際理解、親善、平和の推進に努めることを会長方針に掲げてクラブ運営に邁進しています。地域に理解され、歴史を刻む青少年育成事業の「ロータリー杯スケート大会」は別海町としても「当り前」の事業として認知されています。

国際奉仕として海外からの移住者・海外労働者からの卓話を行い、国際親善にも力を入れているとのことでした。例会結びにはサプライズとして山口長伸会員より素敵な名前折込和歌を頂き感謝・感動で公式訪問を終えました。

別海ロータリークラブの皆様　心温まる対応をして頂き感謝申し上げます。

（文責：及川　　悟　副幹事）

第８分区　弟子屈ロータリークラブ

会　　場：ホテル摩周　　会　長：清水　智樹
公式訪問：2018年8月29日（水）　　幹　事：木暮　敏男

弟子屈ロータリークラブは１９５７年に創立されました。町村としては日本で最初のクラブで、北海道でも７番目のクラブです。道東内陸部に位置する弟子屈町は古くから温泉の町として栄え、摩周湖、屈斜路湖、釧路川、硫黄山など豊かな自然環境に恵まれている地域の弟子屈ロータリークラブ。今年度清水智樹会長の活動方針『もっとロータリーを知ろう、知らせよう、そのために行動しよう』を掲げより良い地域社会を目指し地道に奉仕活動を積み上げてきたロータリークラブです。　活動方針を基に５つの活動目標を掲げその中でも清水会長が幾度となく言葉にしていました「会員家族のロータリーへの理解促進を図るため例会、行事等に参加機会を増やす」まずは家族からひとりでも多くの人にロータリーを知ってもらうことにより地域への奉仕活動、貢献事業を通じまさに『インスピレーション（刺激を与える存在）』になるものと考えます。

弟子屈ロータリークラブの皆様、心温まる対応をして頂き感謝申し上げます。

（文責：及川　　悟　副幹事）

第３分区　上川ロータリークラブ

会　　場：喰い処　あかし　　会　長：湯川　秀一
公式訪問：2018年8月30日（木）　　幹　事：伊藤　隆司

上川ロータリークラブは、昭和５０年（１９７０）３月１日、旭川北ロータリークラブ大内良美会長、角地義満特別代表のスポンサーとして誕生し加茂嘉雄初代会長以下２３名で創設されました。２０１８年平昌オリンピックで銅メダルを獲得した高梨沙羅選手を輩出した街であり、道内有数の観光地である層雲峡、北海道ガーデン街道の一つである「大雪森のガーデン」を抱えている町です。

会長方針でありますクラブの現状をしっかり把握し、将来に向けて持続可能な活動的クラブを構築していきたいとの下活動をされております。現在会員数１０名のクラブですが会の根幹をなす会員増強では入会予定者を例会にお呼びしてロータリーへの理解をして頂く活動を積極的に行っているとの事です。また、「エスポワールの鐘」の清掃活動、「子供紙ヒコーキ大会」、「上川ロータリークラブ争奪中学校新人野球大会」等を主催し地域に根ざした活動を行っているとの事でした。ガバナーが講話で「会員数が少なく小さいクラブが決して弱小クラブではない」と講話で話しておりましたが、これだけの充実した活動をされている上川ロータリークラブさんのパワーを感じまさしくこのことだと痛感致しました。

クラブの皆様、暖かくお迎え頂き有難うございました。

（文責：深井　弘美　副幹事）

第３分区　富良野ロータリークラブ

会　　場：新富良野プリンスホテル　　会　長：市村　英規
公式訪問：2018年8月30日（木）　　幹　事：久保　昌己

富良野ロータリークラブは創立が昭和３６年（１９６１）年５月１２日、旭川ロータリークラブをスポンサーに設立されました。富良野市は「へそとスキーとワインの町」と言われ北海道の「へそ」、中心に位置し市域の７割を山林が占めるという恵まれた自然環境にある観光と農業の町です。
今年度の会長のスローガンに「見つけよう　あなたのロータリー」のもと「ロータリーの力を信じ、すばらしいメンバーと共に自分の出来るロータリー活動を再発見してみましょう」と活動をされております。例会では友情の握手を全会員とするという初めての経験をさせて頂きました。現在会員数４９名で会員増強にも力を入れていらっしゃいますが、ただ会員に推薦された方を入会して頂くのではなく会員選考委員会という委員会で色々な方面から検討し本当にこの人は会にふさわしいかどうか理事会に報告するという重要な役割を担っており委員会の重要性を感じました。また、各奉仕委員会も積極的な活動をしておられクラブのパワーを感じました。富良野ロータリーさんはベテランの方がいらっしゃりそして若手会員がいらっしゃり和やかに活動され、とてもバランスの整ったクラブでした。お忙しい中の訪問に暖かくお迎え頂きました事に感謝いたします。

（文責：深井　弘美　副幹事）

第１分区　豊富ロータリークラブ

会　　場：豊富町商工会館 2F　　会　長：植村　正道
公式訪問：2018年9月3日（月）　　幹　事：石川　　敏

１週間に渡り訪問させていただく第一分区最初の公式訪問先は創立52年で初の女性会員を迎えられた豊富ロータリークラブです。豊富ロータリークラブは稚内の南に位置し最北の温泉郷で奇跡の湯と呼ばれるほど油分を含んだ豊富温泉につかると、なかなか身体が冷えないほど保温保湿効果の高い全国的にも類のみない温泉です。十勝ワインを飲めるニュー閣ホテルは会員が営んでおり一度はいってみてはどうでしょう。
今年度の豊富RC会長のスローガンは、『未来をひらく地域づくりに貢献・行動するロータリー活動を！』とする方針を掲げられ、そば打ちの講師やイトウを守る会などと有言実行をされている植村会長です。22名の会員とともに、活動をドンドン地域にアピールしてロータリーを知ってもらことにより、国際奉仕として中国からの花嫁や農業留学生との親睦交流会などを開催したり、ロータリー文庫の資金の寄贈や中学校軟式野球大会などのすばらしい社会奉仕の8つの継続事業をすることにより、この度は豊富小学校からICT機器や掲揚ポールの寄贈の感謝盾を拝見させていただき今後益々ロータリー精神が地域に密着するクラブだと感じる公式訪問となりました。月曜日の午前中というお忙しい中対応していただき、感謝と御礼申し上げます。

（文責：松岡　真勝　副幹事）

第１分区　稚内南ロータリークラブ

会　　場：ANAクラウンプラザホテル稚内　　会　長：山下　　優
公式訪問：2018年9月3日（月）　　幹　事：飯﨑　仁一

日本最北端に位置する稚内市は、宗谷海峡をはさんで東はオホーツク海、西は日本海に面し、宗谷岬からわずか43kmの地にサハリンの島影を望む国境の街です。

「水産」・「酪農」・「観光」を基幹産業とする宗谷地方の行政、経済の中心地にある稚内南ロータリークラブは素晴らしい実績を残してきた歴史と伝統のあるクラブであり明るく個性豊かな会員を中心にこれまで以上に活き活きとした魅力のあるクラブとなるよう、閃きと可能性、勇気、希望、創造性を持って更なる改善、発展に邁進しているクラブでした。

1972年3月に創立今期で４７期を迎え現在の会員数は３７名。クラブの目指す将来性、方向性に合う企業人を選考しながら４０名を目標とし未来へ向けて更なる飛躍のための活動にお忙しい中訪問をさせていただきました。

山下会長が掲げる活動方針「情熱的に行動するロータリーであり続けよう」のもと、稚内大谷高校のインターアクトクラブと共に活動しロータリーの理念や目的を直接感じていただきながら青少年の育成に支援、協力など、日々積極的に活動されており継続的に開催されている稚内南中学校への「社会人講和」の参加や稚内北星大学に在籍するネパールからの米山奨学生の世話クラブとして地域活性化に大きく貢献し地域に根ざした奉仕活動を永く取り組んでおられます。

多岐にわたる活動と、地域への想いを持って会員各位が活き活きと明るく地域で活躍されていることに感銘を受けた訪問になりました。

台風２１号の影響や北海道胆振東部地震が重なり日程調整に大変な中、中陳ガバナー補佐をはじめ会員の皆様に、今まで経験したことがないほど温かく歓迎していただき、これこそがロータリーの素晴らしさなのかとあらためて感激しました。

そして、もう一度行ってみたい街とクラブだと本気で思いました。

これからのますますの発展をご祈念申し上げ、明るくそして温かく迎えられたことに感謝申し上げます。

（文責：前川　　学　副幹事）

第１分区　利尻ロータリークラブ

会　　場：ホテル あや瀬　　会　長：米谷　　篤
公式訪問：2018年9月4日（火）　　幹　事：渡邊　善哉

公式訪問の中で一番気になり、そして過去数々の公式訪問したロータリアン評判の離島のまず最初の公式訪問先は利尻ロータリークラブです。

フェリーターミナルで大歓迎をしていただいたもののこの日は物凄い強風。今年最強の台風21号が接近しているため日帰りの訪問となりました。副幹事の行いが悪いのか。誰が悪いのかはさておき、帰りのフェリーが欠航するかしないか不安の中、会長幹事懇談会・クラブ協議会・公式訪問例会を行いました。

米谷会長のもと今年度は17名で活動し一人何役もこなさなければならない反面気心の知れた仲間同士のため風通しがよくまとまりがあり地域に密着した奉仕活動をおこなっています。例会を楽しく充実させるために会員に３名ホテル経営者がいる事を活かし、旅行に来たロータリアンにゲストに来ていただき外部との交流を深める例会という面白い試みや、13年前にお世話になった浴衣パーティーなど三大パーティーで親睦を深め、町内各行事への支援、地域開発としてロータリー憩いの広場の環境整備、会津藩士慰霊祭の執行、新世代プログラムとして図書券の贈呈、新就職者を励ます会を開催するなどまだまだ数多くの地域密着の活動を行い会員相互が連携し更なる飛躍の年になるようご祈念申し上げるとともに荒れた天候の中対応していただき感謝申し上げます。ありがとうございました。

（文責：松岡　真勝　副幹事）

米山月間に寄せて

RI2500地区米山記念奨学会運営委員会
委員長 松浦信一
（北見西ロータリークラブ）

10月は米山月間です。あらためてロータリアンの皆様方には、この事業に対してより一層ご理解をいただき、ご協力を賜りますようお願いします。

【米山記念事業の使命と特徴】

将来、日本と世界を結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動のよき理解者となる人材を育成することであります。

そして米山奨学制度の最大の特徴は、カウンセラー、世話クラブ制度です。それぞれの奨学生に地域のロータリークラブが「世話クラブ」となり、世話クラブ会員が「カウンセラー」となって、日常の相談役を務めます。奨学生は世話クラブの例会や奉仕活動に参加し、ロータリアンとの交流を通じて、平和の心や奉仕の心を学ぶことが出来ます。

【2500地区の現状】

今年度2500地区の奨学生は2名の奨学生が終了し、現在新規奨学生６名（旭川1名、稚内1名、北見1名、網走2名、帯広1名）と継続奨学生２名（帯広１名、北見1名）と初めてのケースになりますが、今年度海外応募により10月から採用の1名（帯広1名）の計9名となっています。当地区は奨学生のいる地域が限られているために、世話クラブに加えて世話子クラブ訪問や地区大会でお話しする機会を設けて出来るだけ交流できるよう努めていきます。

【委員会活動状況】

昨年末に面接試験を行い、4月にオリエンテーションを開催しました。そこでカウンセラーと奨学生に対して詳細を説明させていただきました。7月の地区の米山奨学会研修セミナーには、米山奨学会本部から広報担当の野津美由紀さんにお越しいただき、ロータリアンの皆様方に概要など詳しくお話しいただきました。9月にはカウンセラー会議を行い、奨学生となって半年の生活状況など確認させていただきました。皆さん順調に米山奨学生として過ごされており、勉学にそしてロータリアンとの交流を通じてロータリー活動に参加をして下っていました。地区大会には皆さんの前で報告していただく予定でおります。

2500地区は広域な地域で奨学生との交流が難しい地域もあるとは思いますが、どうか米山記念事業の趣旨にご理解いただき、ロータリアンの皆様方のご支援とご理解を賜りますよう心からお願いします。

カウンセラー会議にて（９／９）

過　歌宇

ＲＩ第2500地区：北海道教育大学（旭川）

私が、初めて日本へ来た時は、一人暮らしの生活が初めてなので、何もできなくて緊張しましたが、それと同時に未知の世界に期待もしていました。空港で両親と離れがたくて泣いた私でしたが、今では落ち着いて国を離れるようになりました。料理を一切していなかった私が、今では毎日自分で一日三食作るようにもなりました。日本へ留学したことは良かった？と聞かれた時、その答えはもちろん「はい」です。

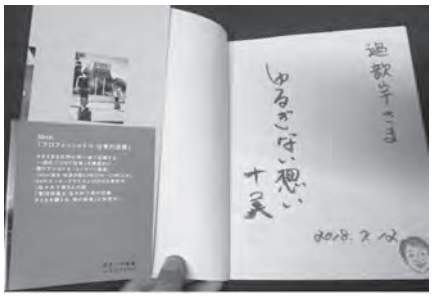
（河川敷清掃に参加した私）

留学生活には色々な出来事があります。新しい友達ができた時の嬉しさ、美味しい料理を食べた時の幸せ、うまくいかない時の悲しさ、一人で病院へ行く時の寂しさ、もちろん生活はいつも順調に進むわけではないので、自分が強くならなければなりませんでした。日本に来て自分が本当に成長したと思います。

大学院の一年目は、忙しいけれども、毎日充実しています。研究方向と方法も大体決め、これからは調査と修論を書く予定です。研究内容は給食に関する中日の比較です。七月に指導の先生と一緒に日本一の給食、置戸小学校へ見学しに行きました。一年間の献立が、重複しないことに驚きました。栄養士さんは努力し大変なお仕事だと思いました。給食の献立にも驚きましたが、食器も素敵な木の素材で作られ、さすが日本で一番の学校給食で子どもたちは幸せだなあと感じました。栄養士の佐々木さんは私が給食を研究していることを知り、著書を私にくださいました。佐々木さんの力をお借りし、給食の研究をもっと頑張りたいと思います。

（置戸小学校給食の試食）

留学で日本に来たので、学業はもちろん一番大事なことですが、できるだけ日本人と触れ合い、日本の文化を理解し、また中国の文化を日本の人達に伝えたいと思います。勉強以外の時は、できるだけ多く日本人と遊んで交流しています。今年の四月から米山奨学生になれて本当良かったと思います。ロータリアンの皆さんの寄付のおかげで、生活費の負担が軽くなり、学業に専念することもできます。毎月旭川南ロータリークラブの例会に参加し、ロータリアンの皆さんと触れ合い、異なる職業の方と話しができ、とても勉強になります。今月は私も河川敷清掃に参加しました。旭川南ロータリークラブの皆さんは雨の中、社会奉仕のために、活動され心から尊敬しました。この活動を通して、もっと深くロータリークラブの奉仕の精神が理解できました。



（佐々木さんにサインして頂いた本）

残りの一年間の留学生活、研究を努力すると同時に中日の架け橋になり、中日友好のために自分の力を尽くしたいと思います。これからもより充実した留学生活をしていきたいと思います。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

2018.9.13

Vol.222

理事会・評議員会報告 –役員改選で新理事長就任–

下記の通り、理事会（8/21 開催・書面）および定時評議員会（9/6 開催）を開催しました。

第二十回理事会　議長：小沢一彦理事長　出席者：理事 27 人　監事 2 人　列席者 3 人

【主な議題】評議員後任候補者、理事・監事候補者、2017 年度事業報告および附属明細書、2017 年度計算書類、2018 年度収支予算書一部修正、専門委員選任、定時評議員会招集など：原案通り承認

第九回評議員会　議長：仲田昌弘評議員 出席者：評議員 20 人 常務理事・監事 8 人　列席者 1 人

【主な議題】定款変更、2018 年度評議員の選任、2018 年度理事・監事の選任、2017 年度計算書類承認など：原案通り承認

理事会および評議員会の前には、直前ＲＩ理事としてご列席の斎藤直美氏から「米山記念奨学会の意義」について、また、（公財）米山梅吉記念館理事長であり、当会評議員である積惟貞氏から「米山梅吉記念館創立 50 周年記念事業」についてのお話をいただきました。各会議終了後には、それぞれ退任される理事、評議員への感謝状贈呈を行いました。また、両会議において、任期満了で理事長を退く小沢一彦氏から最後のごあいさつを頂きました。評議員会終了後のセレモニーでは、斎藤直美氏から小沢一彦氏に感謝状が贈呈されました。

小沢前理事長（左）と斎藤新理事長

第二十一回理事会

評議員会での理事選任を受けて、決議の省略による理事会（書面決議）を開催し、右記の役員が選定されました。

理事長：	斎藤直美氏（2760）	
副理事長：	塙　東男氏（2820）	若林紀男氏（2660）
常務理事：	武田和夫氏（2800）	山崎淳一氏（2830）
	水野　功氏（2750）	滝澤功治氏（2680）
名誉理事長：	小沢一彦氏（2780）	

GETS でよねやま親善大使がスピーチ

9 月 3 日～4 日に都内で開催されたガバナーエレクト研修セミナー（ＧＥＴＳ）の 2 日目午後・閉会本会議において、当会の小沢一彦理事長と岩邉俊久事務局長が米山記念奨学事業の現況報告を行いました。小沢理事長はこの 4 年を振り返り、「米山ほどロータリーのためになり、平和のためになるプログラムはない。ぜひこの奨学事業に参画していただきたい」と、ガバナーエレクトにメッセージを送りました。

続く「学友 3 名のスピーチ」のセッションでは、ロータリー財団（グローバル補助金）学友と ROTEX 学友と共に、よねやま親善大使のアブデルアール・アハメドさんが登壇し、「米山奨学生に選ばれて～奇跡の出会い～」と題してスピーチしました。母国エジプトの紹介をはじめ、「誰がカウンセラーかわからないくらい、皆さんにお世話になった」という世話クラブとの交流、研究の傍ら尽力する、日本の子どもたちへの異文化交流活動についての思いなどを語りました。アハメドさんならではの、ユーモアたっぷりのスピーチに会場は何度も笑いに包まれ、終わりには大きな拍手が送られました。

寄付金速報　– 10月の米山月間に向けて –

8月までの寄付金は前年同期と比べて0.7%減（普通寄付金:1.4%増、特別寄付金:4.4%減）となりました。昨年1千万円の大口寄付をいただいたこともあり、前年度比では多少減少したものの、直近15年間では2番目に高い寄付累計額となりました。心より厚く御礼申し上げます。当財団は内閣府より「公益財団法人」の認定を受けているため、当奨学会への寄付金には所得税、法人税の税制優遇が受けられます。相続税も非課税となります。今年度もぜひご協力ください。詳細は当会ホームページをご覧くださいますよう、よろしくお願いいたします。

2地区協同で一級河川の清掃活動

9月1日、柿田川湧水公園の清掃奉仕活動が行われ、第2620地区（山梨・静岡）と第2580地区（東京）の奨学生・ロータリアン、第2620地区米山学友会、同地区インターアクトなど、合わせて約150人が参加しました。

この活動はもともと沼津柿田川ＲＣが長年続けていたもので、4年前から地区の活動となりました。また、奨学生を連れた研修旅行で毎年米山梅吉記念館を訪れていた第2580地区では、当時の地区米山奨学委員長の働き掛けもあり、第2620地区と協同でこの柿田川湧水公園清掃活動を行うことになったとのことです。

米山奨学生やローターアクトたちは、胸までの胴付き長靴を着用し、冷たい川の中に入って外来植物を除去したり、公園内の草むしりをして、汗をかきながら清流の維持に一役買いました。

台湾学友会による日本人への奨学金が10年目

台湾米山学友会（正式名称：（社）中華民国扶輪米山会）による台湾版米山記念奨学事業「日本人若手研究者奨学金」が設立10年目を迎えました。6月末の締切までに19人の応募があり、台湾米山学友会理事会による選考の結果、過去最多となる5人の合格が決定しました。合格者には今年9月から1年間、台湾学友会から毎月25,000台湾ドル（約90,000円）が支給されるほか、学友会メンバーがカウンセラーとなって、台湾での留学生活を物心両面で支えます。

山中　彩
国立台南藝術大学大学院、繊維専攻。染色工芸における表現技法

小島　和華子
国立中興大学大学院、生物医学専攻。うつ病患者の痛み知覚緩和

小菅　理沙
国立台湾大学。東アジア地域包括的経済連携における台湾の参加

松葉　隼
国立政治大学大学院。日本統治期における台湾の交通網形成

烏谷　亜紗子
国立屏東科技大学大学院、農園生産専攻。AI式改良SRI水稲栽培

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
Tel：03-3434-8681　Fax：03-3578-8281
E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL：http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：野津(のづ)・峯(みね)

Rotary
Zones 1 & 2 & 3
コーディネーター
NEWS
2018年10月号
発行：Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

■ 「増加及び増強について 」

会員増加および増強が必要とすれば、根本的には質と数との問題はありますが、なぜ増加及び増強が必要なのかを理解しこの事を原動力とすることが大切だと思います。
RIロータリー章典（2017年6月版）によれば、「5.010.会員増加および増強」および「5.010.1.会員の増加における個々のロータリアンの役割」には「ロータリー会員であることの利点を他の人に推進することは、全てのロータリアンにとって共通した個人的な責務である。」と記されています。また、ロータリーの目的の第1には、知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること、とされています。これらからすると、そもそも会員増加および増強は全てのロータリアンの責務なのです。
個々の地区やクラブの問題として考えてみた場合には、1つの指針として「ロータリー章典（2017年6月版）17.010.3.地区の規模」には「クラブ数が75に満たない、また所属ロータリアン数が2700名に満たない地区にこれらの数に達するよう奨励している」となっています。これからするとこの基準を満たすまでは増加および増強の必然性ありと判断されますが、では基準を満たしている地区はこれ以上増加及び増強の必要はなくても良いのでしょうか？
1地区平均2700名止まりで良いとするなら我国は34地区ですから合計で91800人程度となり、RIは1ゾーン35000人±10％が必要としていますので、これでは3ゾーン（105000人必要）を保つ事が出来ません。3ゾーン体制を保つなら現状では計算上1地区平均3100人が必要となりますが、全ての地区やクラブがこの基準に達する事には中々計算通りにはいかないでしょう。
日本は今までの3ゾーン体制が今後2.5ゾーンに減少することが決定しています。日本のロータリアン数は現状90000人弱ですから元の3ゾーン体制に戻すなら人数的には全国で約15000人の増加が必要となります。基本的に個々の地区ではなく、日本ロータリー全体（各ゾーン）の問題として増加および増強を優先して考える事だと思います。
大きな地区はより大きく、小さな地区は少なくとも基準に向かっての普段の努力が求められます。短期的（3～5年程度）で純増15000人（1地区平均純増450人程度）の増加は可能でしょうか？簡単に可能な地区もあれば、中々難しい地区もあるかも知れませんが、数字的にみれば6人のロータリアン（全国で15000組）が数年で1人以上の会員を確実に入れれば達成できる数なのです。60人の会員数のクラブであれば、10人の会員増となります。
1つのメルクマールとして6人組を作ってはどうでしょうか。1つの方法論として申し上げました。

第1ゾーンロータリーコーディネーター補佐　坂本元彦　（富士見）

■ 「会員基盤向上セミナーから感じたこと」

今年も3月末に「会員基盤向上セミナー」が200名を越える参加者を得て、大変熱気に溢れたセミナーが開催出来、開催者の1人としてホッとすると共に各地区が会員増強・退会防止に苦慮していることを改めて強く感じました。
今回は、会員増強に成功された事例を多くご紹介することに重点を置いて、RC・RPIC・RRFCの方々と準備を進めました。今回、取り分け反響が大きかったのは、大宮西RC高橋会長、東京八王子西RCの三浦PAGの事例紹介であったと感じています。その両名のお話に共通していたことは、誰がリーダーシップを取るのか、会員各位も増強や退会防止に関心はあるが、最初の一歩をどう踏みだすかということが一番重要だと強調されていました。
増強に成功されているクラブは多かれ少なかれ、また形を変えてクラブの「戦略計画」を持たれています。八王子西RCは創立50周年を一つの契機にクラブ全体で50周年に100名を達成するという共通認識を持ち、会員各位がそれぞれ役割を持ち推進し、結果目標を達成したとお聞きしました。その勢いは、現在も続いており115名から120名を視野に増強を続けていると伺っています。
地区を上げての取り組みの成功例は2840地区が2013-14年度からの3年間で150名を越す増強に成功されていますが、ガバナー、エレクト、ノミニーとの連携で戦略計画を策定され、大きな成果を上げられました。
また、全国で最も会員数の多い2760地区は昨年度、神野ガバナーのリーダーシップの下、地区を挙げてクラブの戦略計画導入に尽力され、5000名に届く勢いの増強とクラブ拡大を達成されています。どんな組織でも、目標を持ち、それを実現するための計画が必要とされています。組織はその戦略に従うものであり、組織ありきでは決してありません。最初のリーダーシップを誰が取り、力強い第一歩を踏み出すのかが、各クラブ、またそれを支える地区チームにとって最大の課題であると感じています。それを出来るのは、やはり会長であり、ガバナーであると思います。ただ、大事なことはガバナー年度、会長年度になって出来るものではなく、エレクト、ノミニーの時代からの思いと連携が必要であると考えます。
また、強調したいのは、パストという役割です。パストは終わりを意味するのではなく、次の始まりであるとの認識が必要です。戦略計画を実行していく上で、パストの役割は大きいとも感じています。あくまでも、現年度のサポートという役割です。
さて、最後に多様性についてですが、基本はやはり職業分類にあると思います。クラブが末永く繁栄していくためには、様々な意味で多様性が必要であることは論を待たないと考えます。その基本にはクラブの構成メンバーのバランスが肝要だと強く思います。2760地区を拝見していると、その重要性を改めて感じます。もちろん、年齢構成、女性会員の比率なども重要ですが、職業分類の多様性もクラブの戦略計画を策定する場合の大事な要因であると思います。
会長、ガバナーには最初の一歩を力強く踏み出していただきたいと思います！再度、3ゾーン復活を目指しましょう。

第2ゾーンロータリーコーディネーター補佐　水野　功（東京飛火野）

新入会員紹介

2018年7月・8月・9月入会

第1分区
稚内ロータリークラブ
よこた　ひろゆき
横田裕之
●生命保険
●昭和46年1月1日
●7月1日入会

第1分区
稚内ロータリークラブ
ふなや　まもる
船谷守
●バス事業
●昭和34年3月7日
●7月1日入会

第1分区
天塩ロータリークラブ
さとう　ひろゆき
佐藤博幸
●農業協同組合
●昭和23年1月29日
●8月6日入会

第6分区
芽室ロータリークラブ
すずき　よしゆき
鈴木良幸
●製糖業
●昭和30年5月6日
●9月1日入会

第6分区
芽室ロータリークラブ
てしま　あきら
手島旭
●宿泊施設
●昭和41年9月5日
●9月1日入会

第7分区
釧路南ロータリークラブ
つつみ　たつや
堤達也
●飲食業
●昭和49年12月1日
●9月14日入会

ロータリー財団寄付者

分　区	寄付の種類	名　　前（ふりがな）	ロータリークラブ	寄付月日
第7分区	米山功労者	張　江　宣　夫（はりえ　のぶお）	釧路西ロータリークラブ	7月6日
第7分区	年次(水と衛生)(ソサイティー)	小船井　修　一（こぶない　しゅういち）	釧路ロータリークラブ	8月31日
第7分区	米山功労者5回目	葭　本　正　美（よしもと　まさみ）	釧路ベイロータリークラブ	8月2日
第7分区	ベネファクター	池　田　圭　樹（いけだ　けいじゅ）	釧路ベイロータリークラブ	9月14日

物故会員

謹んで哀悼の意を表し心からご冥福をお祈りいたします

■第3分区　美瑛ロータリークラブ

昭和50年3月　入会
昭和50年　副会長
昭和51年　幹事
昭和55年　会長
平成5年　会長
平成9年　幹事

はまつか　みつまさ
濱塚光政
土木工事

平成30年8月27日逝去
（82才）

お知らせ

事務所例会場変更

第8分区　厚岸ロータリークラブ　お食事処　牡蠣街道
〒088-1125　厚岸郡厚岸町白浜3丁目110番地　　TEL・FAX　0153-52-5555

■お詫び
ガバナー月信 Vol.3 の記事 11 ページ公式訪問の紋別ロータリークラブの幹事名に誤りがありました。正しくは渡部　啓一様でした。
誌面を借り深くお詫び申し上げます。

RI2500地区

例会出席率及び会員数推移

2018年8月末報告

分区	クラブ名	例会数	出席率(%)	会員数 2018年7/1	当月	増減	女性会員
1	礼文	4	82.0	14	14	0	0
	利尻	3	82.4	17	17	0	0
	利尻島	3	69.2	13	13	0	1
	天塩	2	62.5	11	12	1	3
	豊富	3	100.0	22	22	0	1
	稚内	4	75.0	47	48	1	2
	稚内南	3	91.0	36	37	1	2
	計		80.3	160	163	3	9
2	美深	3	88.9	26	26	0	0
	枝幸	3	73.3	22	23	1	0
	名寄	3	82.1	58	59	1	2
	中頓別	3	81.5	18	18	0	0
	士別	3	82.7	48	48	0	1
	下川	4	75.0	4	4	0	0
	計		80.6	176	178	2	3
3	旭川	3	72.5	71	71	0	0
	旭川東	4	81.5	34	34	0	0
	旭川北	4	75.2	42	42	0	3
	旭川南	4	84.9	33	33	0	0
	旭川西	3	71.9	49	51	2	5
	旭川東北	4	90.6	17	17	0	3
	旭川モーニング	4	85.7	28	28	0	5
	旭川空港	3	69.5	12	13	1	4
	美瑛	3	67.9	27	26	-1	0
	富良野	4	95.7	48	49	1	2
	上川	3	76.7	10	10	0	0
	2500REクラブ	3	93.0	19	19	0	1
	計		80.4	390	393	3	23
4	遠軽	4	77.0	41	41	0	2
	紋別	4	53.7	33	32	-1	0
	紋別港	4	86.1	35	35	0	0
	中湧別	3	93.3	11	11	0	1
	興部	3	83.0	16	16	0	1
	雄武	4	58.3	12	12	0	0
	滝上	2	83.3	15	15	0	1
	計		76.4	163	162	-1	5

分区	クラブ名	例会数	出席率(%)	会員数 2018年7/1	当月	増減	女性会員
5	網走	3	77.6	49	50	1	7
	網走西	3	85.9	50	50	0	0
	美幌	4	90.0	54	58	4	4
	北見	4	87.4	55	57	2	4
	北見東	4	81.9	52	54	2	3
	北見西	4	92.4	59	62	3	0
	清里	3	86.2	28	29	1	0
	留辺蘂	3	89.0	24	25	1	1
	斜里	4	81.3	37	37	0	3
	計		85.7	408	422	14	22
6	足寄	4	66.6	30	29	-1	1
	広尾	3	87.3	21	21	0	0
	上士幌	3	56.0	14	15	1	0
	芽室	3	78.0	26	26	0	1
	帯広	4	71.6	89	93	4	6
	帯広北	4	80.4	67	68	1	2
	帯広西	4	80.0	71	75	4	3
	帯広東	3	83.0	39	39	0	2
	帯広南	3	78.6	75	77	2	8
	音更	4	70.2	39	41	2	3
	清水	4	73.8	22	21	-1	3
	計		75.0	493	505	12	29
7	釧路	4	87.1	94	99	5	1
	釧路東	3	60.0	32	33	1	1
	釧路北	4	78.0	78	80	2	4
	釧路南	5	80.0	27	28	1	5
	釧路西	3	72.8	29	29	0	1
	釧路ベイ	4	91.7	21	21	0	1
	音別	3	73.0	17	16	-1	0
	白糠	4	94.5	9	9	0	0
	計		79.6	307	315	8	13
8	厚岸	3	70.5	17	17	0	0
	別海	4	56.6	19	18	-1	0
	浜中	4	88.5	12	13	1	0
	中標津	4	70.2	21	21	0	1
	根室	4	82.0	38	38	0	1
	根室西	4	92.2	49	50	1	0
	弟子屈	4	70.4	18	18	0	1
	計		75.8	174	175	1	3
総計			79.2	2,271	2,313	42	107

第2500地区 全67クラブ	18年7/1会員数	8月31日会員数	増減	平均出席率
	2,271人	2,313人	42人	79.2%
女性会員数		107 人		

ロータリー国際大会へ参加をお願いします

2019年6月1日から6月5日まで，ドイツのハンブルクで，ロータリー国際大会が開催されます。

ハンブルクは，ドイツ北部の人工170万人の港湾都市です。海からは100kmも離れていますが，エルベ川で結ばれております。また，ドイツ有数の観光都市で，多くの歴史的建造物や観光スポットがあります。
是非とも多くの方々に参加をお願いします。また，早期に国際大会への登録をお願いします。
2018年12月15日までの登録料は395ドルです。（以後，３月３１日まで495ドル，４月１日以後595ドル。）

MY ROTARYの登録を！

国際大会の登録にあたっては，まず，インターネットで，「MY ROTARY」のアカウントを登録するのが便利です（無料）。

MY　ROTARYのアカウント登録をすることで，国際大会の登録のほか，ロータリーに関わる様々な情報・資料を入手できるようになります。
MY ROTARYの登録は，RIからも積極的に推奨されています。
国際大会への参加を迷っている方も含めて，まずは，この機会に，ぜひとも登録をお願いします。

インターネットで「MY　ROTARY」を検索の上，指示に従って，登録手続きをお願いします。

ハンブルクへのツアー計画について

オンツーハンブルク委員会では，ハンブル大会へのツアーを準備中です。5月３１日（金曜日）の午前中に東京を出発し，６月６日（木曜日）の午前中に帰国する日程で計画しております。
細川ガバナー年度を締めくくるイベントにふさわしい，思い出深い，楽しい旅行を企画しておりますので，皆様の積極的なご参加をお願いします。

下記の写真は，2018年トロント大会のものですが，国際大会の素晴らしさを少しでも感じてもらえれば幸いです。

オンツーハンブルク委員会　委員長　荒木樹（帯広北RC)

ROTARY WORLD MAGAZINE PRESS

RI2500地区ロータリーの友委員会
地区代表委員　石　岡　幸　雄
（帯広北ロータリークラブ）

ロータリアンの購読料で発行されています

クラブ単位で送付

＊『ロータリーの友』（以下『友』）は定価 200 円＋消費税（会員は送料込）
＊購読料はクラブで会員の皆さまから一括集金していただいたものを、年２回（７月と１月）クラブ事務局から一般社団法人ロータリーの友事務所に振込送金していただいています。
＊『友』は、各クラブ宛てに毎月末にお送りしています。
＊送付部数は、半期ごとに減部を受けていますが、その締切日については、５月号と 11 月号の一括発送の『友』誌と一緒に手紙でお知らせしています。手続きは友ウェブサイトほか、メール、電話、ＦＡＸでも承っています。

クラブ雑誌委員長へ『友』を直送

『友』をいち早く読んで、例会で配布の際、内容を紹介したい、との声に応えて、希望するクラブの担当者お一人に限り『友』を直送しています。随時受け付け、間に合う号からお送りしますので、ご利用ください。次年度『友』誌直送サービス希望の有無のご案内は、３月号に同封して全クラブ宛てに送付しています。準備の都合上４月 15 日締め切りとさせていただいています。

『友』の発行部数と収入実績（2017 年7月号～ 2018 年6 月号の発行部数）

7 月号	8 月号	9 月号	10 月号	11 月号	12 月号
95,500 部	95,200 部	95,200 部	96,800 部	95,500 部	95,600 部
1 月号	2 月号	3 月号	4 月号	5 月号	6 月号
95,600 部	95,500 部	95,500 部	95,700 部	95,800 部	96,000 部

年度合計　1,147,900 部
1 か月平均　95,658 部

2017 年7月～ 2018 年6月の収入実績　購読料　1 か月平均　18,587,186 円（92,935 部）
広告料　1 か月平均　768,325 円

『ロータリーの友』投稿規定

友愛の広場　★★
・エッセーや海外ロータリークラブ訪問記、時局雑感など。
原稿：1000 字程度　写真：あれば添付

ロータリー・アット・ワーク写真編　★★
・ロータリークラブ、地区、インターアクト・ローターアクトクラブなどの奉仕活動を写真で紹介。活動後１カ月以内にご投稿ください。
原稿：150 字程度（必ず活動日を入れてください）
写真：記念撮影以外で活動の様子が分かるもの

ロータリー・アット・ワーク文章編　★★
・ロータリークラブ、地区、インターアクト・ローターアクトクラブなどの奉仕活動を文章中心に紹介。活動後１カ月以内にご投稿ください。
原稿：600 字以内　写真：あれば添付（記念撮影以外）

ロータリー俳壇・歌壇・柳壇
・１カ月に１人はがき１枚に３句（首）まで。クラブ名・お名前・電話番号を記入。メール投稿はお受けできません。

私の一冊　★
・会員おすすめの本を紹介。一般的、入手可能な市販書籍でお願いします。
原稿：320 字以内。別に書籍名、著者名、出版社、発行年を付記してください。

わがまちの味　★★
・わがまちの自慢の郷土料理や、変わった例会の食事、個人的な思い出の味などを紹介。
原稿：100 字以内（食べ方、由来などを説明）
写真：料理のアップ写真

パズル de ロータリー　★★

・３種類のパズル（クロスワード、数独、シークワーズ）を毎号順番に掲載。プレゼント応募の締め切りは発行月翌月の 10 日。

内外よろず案内

・会員間の趣味の交換、催し物の案内など。
原稿：200 字以内。資料があればお送りください。

声　★★

・友誌についての感想・意見を紹介。発行月翌月の 10 日が締め切り。
原稿：200 字以内。対象記事を明記してください。

★『友』ウェブサイトから記入用紙をダウンロード可
★★『友』ウェブサイトの投稿フォームから投稿可

情報もお待ちしています！

NEW GENERATION　★

・ロータリーのプログラムに参加経験のある 10 ～ 30 代の若い人（現役・学友）を紹介。推薦対象者（インターアクター、ローターアクター、青少年交換学生、財団奨学生、米山奨学生、ライラリアンなど）について編集部へご一報を。編集部から直接、当人へ原稿を依頼します。

特集記事

・ロータリーの友ウェブサイトで特集記事の情報を募集することがあります。チェックしてください。

『クラブ週報』『クラブ会報』

・「卓話の泉」掲載用として、クラブの『週報』『会報』を継続してご送付ください。メール配信のクラブは、メーリングリストに友編集部メール（hensyu@rotary-no-tomo.jp）を加えてください。紙で発行のクラブはご郵送ください。

◆投稿の方法について

投稿時はＥメール・郵送のいずれも「名前」「所属クラブ」「連絡先」を必ず記入してください。

●Ｅメール

hensyu@rotary-no-tomo.jp に、原稿データと写真データを個別に添付し送信してください。写真は jpeg などの元データ（200KB 以上。圧縮しない、なるべく大きなデータサイズ）を原稿に貼りつけず送信してください。

●郵送

原稿：データ原稿はＣＤ－Ｒなどに入れ、手書きの場合は原稿用紙をお送りください。

写真：プリントしたものと一緒に jpeg などの元データ（200KB 以上。圧縮しない、なるべく大きなデータサイズ）をＣＤ－Ｒなどに入れお送りください。プリント写真は現物をご郵送ください。

●投稿フォーム

「友愛の広場」「ロータリー・アット・ワーク」「わがまちの味」「パズル de ロータリー」「声」は『友』ウェブサイト・投稿フォームから投稿できます。

●ＦＡＸ

原稿のみのご投稿、情報提供はＦＡＸでもお受けします。「私の一冊」「NEW GENERATION」の記入用紙は『友』ウェブサイトからダウンロードできますが、必要な方は下記までご連絡ください。

写真について

・投稿の元データは、ご送付後もしばらくお手元で保存してください。
・プリント写真は原則として返却しませんが、要返却写真は、その旨を送付時にお書き添えください。
・一般の方を被写体に含む写真の場合、肖像権にご注意ください。
・記念撮影（集合写真）は原則、掲載しません。

その他

・投稿原稿は文意を変えない程度に編集部内でリライトすることがあります。規定字数を超える場合は編集させていただきます。また、ひらがな・漢字などは、『友』の表記に統一させていただきます。
・写真ならびに原稿は、友ウェブサイト、広報誌など、（一社）ロータリーの友事務所発行の出版物に掲載の場合があります。
・掲載は、（一社）ロータリーの友事務所理事会ならびにロータリーの友編集部にご一任ください。誠に勝手ながら、掲載・非掲載の連絡は差し上げていませんが、投稿後 6 カ月をめどにご判断ください。

送り先　一般社団法人ロータリーの友事務所
〒 105 － 0011 東京都港区芝公園 2-6-15
黒龍芝公園ビル 4 階
TEL 03-3436-6651/ FAX 03-3436-5956
Ｅメール　hensyu@rotary-no-tomo.jp
投稿フォーム www.rotary-no-tomo.jp/form.php

国際ロータリー第2500地区
2018-2019年度　ガバナー

細　川　吉　博

■ガバナー事務所

〒080-0801 北海道帯広市東1条南14丁目1-1 タイヤセレクト2F
Tel:0155-66-9307　FAX:0155-66-9308
E-mail: ri2500-obihiro.north@road.ocn.ne.jp

■Governor's Office

Tire Select 2F,1-1,Minami 14-chome,Higashi 1-jo,Obihiro-shi
Hokkaido,080-0801,Japan
Tel:+81155-66-9307　FAX:+81155-66-9308
E-mail: ri2500-obihiro.north@road.ocn.ne.jp

http://rid2500.jp